

2020年度 事業報告書

2020年度における重要無形文化財人形浄瑠璃文楽の伝承及び普及事業については、新型コロナウイルス感染症（以下：コロナ）拡大防止のため、4月から8月までの5カ月間、公演が中止となった。9月以降は、文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会（以下：芸文振）並びに大阪府等の関係諸団体と連携し、感染症対策に万全を期し、公演事業を再開した。

公演再開に向けては、消毒・換気の徹底や座席数の減少、技芸員や舞台関係者の公演前のPCR検査の実施は勿論、芸文振（国立劇場・国立文楽劇場）、一般社団法人人形浄瑠璃文楽座（以下：文楽座）と連携し、7月に「文楽公演を想定した飛沫飛散検証実験」を行い、お客様に安心して公演を楽しんでいただけるよう環境整備に努めた。さらに同結果を踏まえ、技芸員対象に感染拡大防止ガイドラインや発熱者対応マニュアル等も作成し、お客様はもとより、技芸員も安心して舞台を務めることができるよう環境を整えた。

1. 公演事業

(1) 本公演（国立文楽劇場、国立劇場主催）

コロナ拡大防止のため、国立文楽劇場及び国立劇場主催の4、7月（大阪）、5、8月（東京）の本公演が中止となった。公演日数は、大阪・東京を併せて、例年の約半分の79日であった（公演数は、コロナ拡大防止のため、2部制を3部制に変更したため、例年の8割程度となった）。

（ ）内は、前年度実績

公 演 地	期 間	日数・公演数	観 客 数
大 阪 (国立文楽劇場)	【中止】 4/4～4/27	22日 44回	0人
	【中止】 7/18～7/28	11日 33回	0人
	10/31～11/23	23日 69回	12,676人
	(2021) 1/3～1/24	21日 63回	11,293人
計		44日 132回 (85日 187回)	23,969人 (91,990人)
東 京 (国立劇場)	【中止】 5/9～5/25	17日 34回	0人
	【中止】 8/3～8/9	7日 21回	0人

	9/5～9/22	18日 72回	11,052人
	(2021) 2/6～22	17日 51回	12,091人
	計	35日 123回 (51日 119回)	23,143人 (56,159人)
	合計	79日 255回 (136日 306回)	46,960人 (148,149人)

(2) 地方公演（文楽協会主催）

地方公演は、本公演がない秋季及び春季に全国各地を巡演し、各地の文楽愛好家の期待に応えるとともに、新規顧客の開拓に取り組む事業。2020年度はコロナ拡大防止のため、20会場の予定が半分の10会場での公演となった。

（ ）内は、前年度実績

公演地	期間	日数・公演数	観客数
札幌、金沢、焼津、 豊橋、所沢、横浜	10/5～10/18	6日 12回 (9日 18回)	3,264人 (7,602人)
戸畑、関、宇都宮、 高崎	(2021) 3/4～3/15	4日 8回 【中止】	1,735人 (0人)
合計		10日 20回 (9日 18回)	4,999人 (7,602人)

(3) 青少年を対象とした公演（国立文楽劇場・国立劇場主催）

国立文楽劇場及び国立劇場主催の「文楽鑑賞教室」はコロナ拡大防止のため、6月の大阪は中止したが、12月の東京は実施することができた。同じく国立文楽劇場及び国立劇場主催による若手技芸員を中心とした「若手公演」も、6月の大阪・東京は中止、12月の東京は実施することができた。

①文楽鑑賞教室（国立文楽劇場・国立劇場主催）

（ ）内は、前年度実績

公演地	期間	日数・公演数	観客数
大阪 (国立文楽劇場)	【中止】 6/5～6/18	14日 28回	0人

東京 (国立劇場)	12/3～12/15	13日 25回	5,611人
合計		13日 25回 (27日 53回)	5,611人 (30,328人)

②若手公演 (国立文楽劇場・国立劇場主催)

()内は、前年度実績

公演地	期間	日数・公演数	観客数
大阪 (国立文楽劇場)	【中止】6/20～6/21	2日 2回	0人
東京 (国立劇場)	【中止】6/27～6/28	2日 2回	0人
	12/3～12/15	13日 26回	5,973人
合計		13日 26回 (17日 17回)	5,973人 (9,177人)

(4) 特別公演事業

特別公演事業は、コロナの影響を大きく受けることになった。7月のルネッサ長門、8月の内子座文楽第24回公演、11月の日経文楽の夕べ、12月の中之島文楽(ムムム!!文楽)が中止となった。また、10月に予定していた交流100周年を記念したチェコ公演も中止となった。さらに、例年、年間250日程度公演しているギオンコーナーも中止となった。

一方、新たな活動として当初年間計画になかったが、コロナ禍での芸術文化支援として設置された稲盛財団文化芸術支援プログラムに応募し、京都精華大学マンガ学部の学生とのコラボ作品「文楽×マンガスーパーコラボ 増補大江山戻り橋の段」の制作に取り組んだ(2021年6月ウェブ上で公開予定)

・主な特別公演事業

公演名	期間	日数・公演数	観客数
博多座文楽	10/3～10/4	2日 4回	2,299人
ヴィアール大阪 はじめての文楽	3/7	1日 2回	311人
ムムム!!文楽 こども本の森 みてきて ぶんらくのおはなし 鬼の巻	3/21	1日 2回	90人

2. 伝承事業

2020年度(2021年3月31日現在)の契約技芸員数及び内訳は、次のとおりである。

契約技芸員数	太夫	三味線	人形
83名	19名	21名	43名

※2020年8月に豊竹嶋太夫が逝去。

技芸の伝承・向上を目的として、師匠・弟子間の研修・指導に重点をおいた取り組みを推進するとともに、技芸員の舞台活動を支援するために必要な着付、黒衣、三味線等の購入等に際し助成を行った。

一方、蝠聚会など例年開催される若手技芸員による自発的な勉強会はコロナ拡大防止のため中止となった。

そのような中でも1年間真摯に舞台を務め、技芸の向上が著しい若手技芸員に対し、例年どおり文楽協会賞を贈った。

(1) 【中止】若手技芸員発表会 8月 蝠聚会(国立文楽劇場小ホール)

(2) 文楽協会賞表彰 3名

(太夫) 竹本碩太夫、(三味線) 鶴澤燕二郎、(人形) 桐竹勘次郎

3. 後継者育成事業

文楽の技芸員を目指す独立行政法人日本芸術文化振興会の文楽研修生2名(太夫)に2年間の養成費を助成した(2名120万円)。

また、文楽協会の研究生3名(太夫2名、三味線1名)に対し、支援費として毎月一人5,000円の支給を行った(3名計18万円)。

4. 普及啓発事業

(1) ミニ公演事業(大阪府教育委員会)

これまで文楽に馴染みの少なかった人達に、文楽を知ってもらい親んでもらうため、大阪府内における認知度向上と国立文楽劇場への観客動員増加を目的とした普及啓発事業として、三業の役割解説と短時間の演目を組み合わせた公演を実施した。なお、1月10日に実施予定だった恒例の道頓堀・戎舞台はコロナ拡大防止のため中止となった。

実施場所	公演日	観客数
関西テレビ なんでもアリーナ（大阪市北区）	11/29	170人
フェニーチェ堺（堺市堺区）	3/10	240人
高槻現代劇場（高槻市）	3/16	360人

（2）ムムム!!文楽（大阪市）

「文楽を中心とした古典芸能振興事業実行委員会」（構成：大阪市、文楽協会）が実施する各種事業に協力した。

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策動画「ご来場のお客様へのお願い～国立文楽劇場」
 - ・YouTube「ムムム!!文楽チャンネル」
 - ・ウェブサイト Lmaga.jp「ハロー！文楽編集部 2020」
 - ・文楽フリーペーパー「ハロー！文楽」
- （その他、前掲の「ムムム!!文楽 こども本の森 みて きいて ぶんらくのお話 鬼の巻」）

（3）【中止】ワンコインで文楽

（公益財団法人関西・大阪21世紀協会／アーツサポート関西文楽支援寄金）

5. 運営

（1）評議員会の開催 6月15日（新型コロナウイルスのため書面審議）

決議事項：2019年度事業報告について

2019年度決算について

任期満了による評議員の選任について

理事の選任について

報告事項：新型コロナウイルスの影響による公演開催状況について

（2）理事会

- ・第1回理事会 5月25日（新型コロナウイルスのため書面審議）

決議事項：2019年度事業報告について

2019年度決算について

評議員会の招集について

職員貸金支給規程一部改正について

報告事項：理事長の職務執行状況報告について

新型コロナウイルスの影響について

・第2回理事会 3月19日（新型コロナウイルスのためオンライン会議）

決議事項：2021年度事業計画について

2021年度収支予算について

文楽基金の一部取り崩しについて

2021年度国庫補助事業実施決議について

運営資金の短期借入れ並びに担保の提供について

公益財団法人文楽協会職員就業規則の新設及び一部変更について

文楽協会事務局人事について

報告事項：岸本忠三文楽支援基金取崩し見込み額について

理事長の職務執行状況報告について

公益財団法人文楽協会賛助会員の入会状況について

（3）賛助会員制度の実施

文楽協会の安定した財政運営の一助となるよう、当会の事業趣旨に賛同いただく個人、法人から幅広く支援を募る「公益財団法人文楽協会賛助会員制度」を4月に設置した。2021年3月末現在、個人会員227人（720口、216万円）、法人会員24社（340口、1,700万円）。

【 附属明細書 】

事業報告書に詳細まで記載しているため、記載する事項はありません。